

清流ニュース

発行所
八王子市子安町1-22-25
清流寺
清流ニュース編集室
電話(042)646-0287(代)
FAX(042)644-1164
http://seiryuji.jp.org/

八月の御総講日

- 一日 十時 御修行日
- 七日 十時 バースデー総講
日序上人報恩祈念
- 十三日 十時 高祖御命日
- 十七日 十時 開導御命日
- 廿五日 十時 門祖御命日
於 清流寺
- 十二日 十時 高祖御逮夜
- 十六日 十時 開導御逮夜
- 廿四日 十時 門祖御逮夜
- 三十日 十時 歡尊御命日
於 羽村別院

六月廿四日 於羽村別院

歡尊会 併日序上人御廿三回忌法要 無事奉修御礼



年齢を感じさせない日流上人

令和二年度総祈願
日序上人御廿三回忌報恩御奉公成就
本年度教化誓願達成之御願
激励助行 随喜参詣 歡喜御講奨励
一人ひとり御会式参詣將引御奉公推進

六月廿四日(水)十時三十分より、羽村別院に於て、五月十日に予定されていた、歡尊会と、先住・権大僧正・日序上人御廿三回忌法要が当山教務部権大僧正加藤日流上人奉修導師の下、コロナ禍のために、参詣者を限定し、「ソーシャルディスタンス」(人と人との間かくをとる)形式で奉修されました。

梅雨空の下ではありましたが、好天のお計らいを頂き、御宝前右側に安置された、ご遺影に、奉修導師(居焼香)当山住職、住職夫人、別院代表の五味 氏、宮寺顧問、止め焼香の森内事務局長とそれぞれ祭壇前でお焼香されました。

奉修導師を勤められた、加藤日流上人は、本年九月十三日が、得度満七十年という事で、当日は、初転法輪のご法門を拝読されました。

(ご法門は二面に掲載いたしました)

終了後、清流墓苑の歴代住職墓前に於て、日序上人御廿三回忌の言上がなされ、こちらもご住職はじめ教務部と、信徒代表のみのお焼香となりました。

八月の朝参詣祈願週間

八月二日～六日
小金井、大和、東村山、昭島教区

八月の朝参詣祈願週間は、小金井、大和、東村山、昭島教区の教化誓願を言上致します。

八月二日(日) 小金井教区

三日(月) 大和教区

四日(火) 東村山教区

五日(水) 昭島教区

六日(木) 全教区

令和二年七月豪雨 義援金について

このたびの九州を中心とした豪雨禍により被害をうけられた方々に心よりお見舞い申し上げます。亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

被災者のことを考えると、まことに身につまされます。いづれ、宗門でも義援金活動が開始されると思われませんが、当山といたしましては、義援金活動をはじめます。従来通りのかたちで、本堂をはじめとして、各御講席に於て義援金を募りますのでよろしくご協力をお願い致します。

清流寺創建七十周年 記念事業御有志奉納者

(その廿三)
二七一名 五一一口
(教区順、敬称略、順不同)

八月一日に予定されておりました夕涼み会は中止となりました。

同帰亭要語録



止暇断眠

我が門家は夜は眠りを断ち、昼は暇を止めて之を案ぜよ。一生空しく過して万歳悔ゆること勿れ。(富木殿御書)

我が門家というのは御弟子旦那という事で、つまり、弟子と信者一同という事であり、之を案ずるというものは、末法に於ける唯一の成仏の法たる上行所伝のお題目の御信心をさせて頂くという事であり

我が門家というのは御弟子旦那という事で、つまり、弟子と信者一同という事であり、之を案ずるというものは、末法に於ける唯一の成仏の法たる上行所伝のお題目の御信心をさせて頂くという事であり

我が門家というのは御弟子旦那という事で、つまり、弟子と信者一同という事であり、之を案ずるというものは、末法に於ける唯一の成仏の法たる上行所伝のお題目の御信心をさせて頂くという事であり

ります。この御信心という事は、弟子の信心、信者の信心と別ではなく、少しも軽重の差はないので、一括して我が門家と仰せられたのであります。この御信心をさせて頂くことによつて、どれだけの果報があるかと申しますと、薬王品に、所得ノ福德ハ無量無辺ナリ。火毛焼クコト能ハズ。水毛漂ハスコト能ハズ。汝ノ功德ハ千仏共ニ説ケドモ尽

スコト能ハズ。と説かれてあります如く、汝と仰せられてあるのが出家も、在家もという事になるのであります。一生空しく過ごすというのは、御信者としてトカク日々々の御信心が懈怠勝ちになることであり、積尊がいよいよ御入滅になるとき弟子たちを戒めて、「昼ハ即チ勤メテ善法ヲ修

習シテ時ヲ失セシムルコトナカレ。初夜ニモ後夜ニモ亦廃スルコトナカレ。中夜ニハ経ヲ誦シテ以テ自ラ消息セヨ一生空シク過ギテ得ル所無カラシムコトナカレ。」と仰せられたのをお祖師様に示されたものであります。生レル事難シという人身を得、値フ事難シというこの尊い御法にお出値したお互い

に對し開導聖人は、いきている。日数の中のけふの日をいたづらならぬ様に暮せよと御教歌下されてあるのであります。日々の口唱信行がいささかでも怠り勝ちになつては一生空しく暮らすという事になりますから、あとから後悔のないうよう平らかな御信心が肝要です。